

中央高等学園専修学校入学式祝辞

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。地元、北栄町の町長の手嶋です。

義務教育期間を終了し、自ら学びを続けたいと決めた高校生活が始まります。新しい生活は、何かとわくわく感と不安な気持ちが入り混じっているものです。でも、その不安は心配はいりません。ここには、やさしく、熱い思いのある先生ばかりです。悩みを共有できる友達や先輩もいます。ぜひ相談してください。みなさんは、決して、一人ではありません。今、私は、「心配はいりません」と言いましたが、決して、根拠のない言葉ではありません。それは、3年間通い、3年後の卒業式を経験すれば、その答えが出ているからです。

これから、将来に向けて、具体的な目標が決まってきます。その目標を達成するために諦めずに努力を続けてください。

また先ほど、校長先生より、プロ野球選手の打率3割の話がありました。プロでも良くて3割しか成功しない。7割以上は失敗している。ミスを恐れずに挑戦しようということです。私も野球やっていたので、その関連でお話します。私からは、三振の話です。空振りの三振はOK!見送りの三振はNG!ということです。見送りの三振は、悔いが残るからです。みなさんの生活に言い換えれば、やろうと思ったことはやったほうがいい、やらなかったら悔いが残る、ということです。良いと思ったことは実行しましょう。

またこの学校は、地域との関りを大切される学校です。地域の方といっしょにカフェを運営したり、ボランティア活動をしたり、また町の行事にも積極的に参加していただいています。

ご家族のみなさまにおかれましては、このように立派に成長されたお子様のご入学、感慨もひとしおのことと心よりお喜び申し上げます。これからも、いろんな壁にあたり、いろいろと悩むことがあると思いますが、しっかり向き合って、家族として・人生の良き先輩として、アドバイスいただきますよう、よろしく申し上げます。

校長先生をはじめとする諸先生におかれましては、新入生が一日でも早く、学校に慣れ、高校生活が順調にいくようよろしくお願いします。

終わりに、新入生のすこやかな成長を祈念し、私からのお祝いのあいさつとさせていただきます。

令和7年4月14日

北栄町長 手嶋俊樹